

7月選挙決戦勝利へ!!

2016年5月14日
No.386

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

G7サミット粉碎! オバマ来広阻止! 5/25京都-5/26広島で怒りのデモを!

【京大生からのアピール】

～京大同学会選挙をともに闘おう!～

京都大学で5月23日(月)から6月3日(金)にかけて、全学自治会同学会次期執行部を選出する選挙が行われます! 全国学生はともに闘おう!

●朝鮮侵略阻止! 戦争絶対反対の執行部を!

選挙期間中の5月26～27日にはG7サミットが開催されます。サミットに参加するアメリカ、フランス、イギリス、カナダの政府は中東・シリアへの空爆作戦に参戦しています。ドイツ政府は戦場に武器や戦闘機を供与し、地上軍を派兵しています。イタリアと日本の安倍政権も、有志連合加盟国としてこの戦争に加担しています。

戦争はシリアなどの豊富な天然資源の支配権と海洋ルートをめぐる、一部の人間の利益のために継続されています。そして、街を破壊し多くの人々の命を奪っています。戦場に派遣され、殺し殺されているのは私たちと同じ世代の青年兵士です。戦争では決して「利益」を得ることのない人たちがばかりです。

さらにサミットでは、中東・ウクライナに加えて北朝鮮情勢も議題として扱われるとされています。彼らの次なる攻撃先は、朝鮮半島を焦点とする東アジア全域に向いているのです。集団的自衛権を容認する安保法制を強行可決・

施行させ、7月選挙を経て改憲を狙う安倍政権がその中心にいます。サミットは各戦争政府の頭目が一堂に会し、テーブルの下で脛を蹴り合いながら「調停」を結ぼうとする戦争会議です。こんなものは人類の行為として認めるわけにはいきません。粉碎あるのみです!

しかし、「戦争反対」を掲げてきた多くの「左翼」勢力がサミット開催やオバマ広島訪問に反対できないでいます。諸手を挙げて賛成する者すらいます。これは、昨年9月の安保国会攻防を経て、「朝鮮戦争は切迫性がない」とか「自衛のための戦争ならいい」「立憲主義を守ることが最重要」などと、現に起きている戦争に向き合わなくなった結



京大スト弾圧粉碎-6学生奪還を訴える京都市内デモ!(3月13日)

7月参院選で鈴木たつお弁護士必勝を!

～新しい労働者の政党をつくるう!～

◆川内原発いまずぐ止める!

◆改憲・戦争絶対反対! 派遣法撤廃、非正規なくせ!

【第二東京弁護士会所属・元日放労(NHK労組)長崎分会委員長・法大学生弾圧裁判弁護団長】



果です。しかし、私たちの思いは一つです。同学会とともに、オバマ来広弾劾闘争を闘う広大生とともに、5月25日の「サミット粉碎！ 京都デモ」を断固闘いましょう！

●大学・学問を取り戻せ！

ストライキを闘う執行部を建設しよう！

京大同学会執行部と全学連は、昨年10月27日、大学構内で反戦バリケードストライキを敢行しました。「大学は戦争反対の立場を示せ」というバリストの訴えに対し、大学当局の示した回答は、6人の学生を刑事告訴し逮捕させ、20日間も京都府警の留置所に勾留させるものでした。

安倍政権と文科省の下で大学間競争が煽られ、防衛省予算での自衛隊装備品に関する研究開発も昨年から公然と開始されています。京大も例外ではなく、今まで標榜してきた『自由の学風』を捨て、「国際化」を合言葉に学生を単位制度で縛り付け競争させる方向へ進んでいます。

さらに、学生の貧困問題に対し、「学費半額」「給付型奨学金拡充」「ブラックバイト根絶」などの経済的要求ばかりをスローガンに掲げる勢力がいます。彼らは安保法を「立憲主義の問題」とか「自衛戦争には反対しない」と言う勢力と同じです。現に目の前で戦争が起きていても、何か学生が「平等」に「安定的」に大学に通い学ぶ「権利」さえ保障されれば、学生の存在は保たれるという主張なのです。

学生の力はそんなものなのでしょうか？ 戦争や原発事故のような社会の悲惨を二度と起こさないためにどうするか、学生同士が真剣に考え討論し行動することが、いま本当に求められている大学の姿であり、学問の姿ではないでしょうか！ 反戦学生運動こそ学問であり、その主体を「学生」、その場を「大学」と呼ぶべきではないでしょうか！

大学・学問を学生の手に取り戻そう！ 学生の共同性を取り戻そう！ 第2波ストライキに向かって、京大同学会執行部選挙をともに闘いましょう！

【広島大学学生自治会からのアピール】 ～オバマ広島訪問を絶対に許さない！～

オバマの広島訪問の目的は、「核廃絶」などではまったくくない。オバマはヒロシマに米帝の核支配を承認させ、支配の正当性と核戦争の「お墨付き」を得ようとしているのだ！ こんなことを断じて認めることなどできない！

「謝罪もなしでいい。広島に来るだけで」(被団協理事長)。体制内勢力はこぞってオバマを歓迎している。しかし、オバマがやろうとしていることは30兆円の核開発であり、核戦争もはらんだ朝鮮侵略戦争だ！ 支配階級に「お願い」して核をなくすことなどできない。彼らこそ核を持ち使う者であり、戦争を始める者なのだ！

オバマ歓迎＝「核廃絶は支配者次第」。こんなことが振りまかれているが、なぜオバマは広島に来ざるをえないのか？ 米大統領選の混迷に端的に象徴されるように、米帝支配が「ヒロシマ」に承認されなければ成り立たないほどまで追い込まれているからであり、オバマ広島訪問は米帝支配が本当に崖っぷちであることを示しているのだ！

オバマを広島に引き込んだのは、絶えることない労働者階級の核・戦争絶対反対の闘いだ。学生が軍事研究に加担し、労働者が戦争協力しなければ、核開発も戦争もできない。核を廃絶させ、戦争を阻止する力は労働者・学生自身、私たち自身にある！ ヒロシマの反戦反核の闘いはこのことを支配階級に突き付け、核戦争を阻止し続けてきた。オバマに「お願い」することなど何一つない！

「平和を希求する精神」を掲げていながら、広大では日本最大の軍事企業＝三菱重工が経営協議会に入っている。大学を、学生運動を買収しなければ戦争はできないからだ。私たちは広大生の持っている位置の大きさをあらためてつかみ、京大に続く反戦ストへ向け闘っている。

オバマに臆することなど何もない。私たちこそが社会を成り立たせ、担っていく存在なのだ！ 5月26日と27日、オバマ広島訪問反対行動に労働者・学生は総結集し、「ヒロシマ」を利用し寄りかからなければ成り立たない支配体制を、オバマ・安倍をまるごと粉碎一打倒しよう！



G7広島外相会合に抗議する広島市内デモ！（4月10日）

【当面する行動方針】

○国鉄闘争全国運動6・5全国集会

国鉄1047名解雇撤回！ 改憲一雇用・労働破壊に反撃を！ 2千万非正規労働者を殺すな！

6月5日(日) 13時～ 江戸川文化センター大ホールにて

【呼びかけ】 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)